

議会改革に関する調査特別委員会中間報告

令和元年9月11日松前町議会第3回定例会において、閉会中に調査を要すべき事件とした「議会改革に関する調査」について、議会改革に関する調査特別委員会委員長から別紙のとおり中間報告書の提出があったので、これを報告する。

令和2年12月14日提出

松前町議会議長 伊 藤 幸 司

令和2年11月30日

松前町議会議長 伊 藤 幸 司 様

議会改革に関する調査特別委員会
委員長 堺 繁 光

議会改革に関する調査特別委員会中間報告書の提出について

本委員会は、令和元年9月11日松前町議会第3回定例会において承認を得た「議会改革に関する調査」について、松前町議会会議規則第47条第2項の規定により、別紙のとおり中間報告書を提出いたします。

議会改革に関する調査特別委員会中間報告書

1 設置の経緯

令和元年6月に行われた松前町議会議員選挙では、昭和29年に現在の松前町が誕生して以来、初めて無投票により当選が決まり、特に、近年における少子高齢化の進行や地方で加速する人口減少の影響もあって、全国的に議員のなり手不足が指摘されている。このような状況を踏まえ、この度総務省では、今後の地方議会のあるべき姿や多様な人材が地方議会に参画しやすくなるための方策等について幅広く議論するため、「地方議会のあり方に関する研究会」を設置したところであり、松前町議会においても多様な人材確保のための環境整備を図るとともに、町民により開かれた議会となるよう議会改革を進めていきたいと考えている。

このことから、令和元年第3回定例会において、今後における議会及び議員のあり方について様々な角度から議論を進め、一層の議会運営の効率化と活性化に向けた取り組みが必要であると考え、議長発議で議長を除く全議員による特別委員会の設置提案があり、終了するまでの間、閉会中の調査をすることに決定した。

2 委員会の開催状況

区 分	委員会開催年月日	出席委員数	欠席委員数
設置時	令和元年 9月11日	11名	0名
第1回	令和元年11月19日	11名	0名
視察調査	令和2年 1月15日	11名	0名
第2回	令和2年 2月 6日	11名	0名
第3回	令和2年 4月15日	11名	0名
第4回	令和2年 8月 7日	11名	0名
第5回	令和2年10月12日	11名	0名
第6回	令和2年11月30日	11名	0名

3 調査概要

- (1) 設置時委員会 令和元年9月11日（水）
正副委員長の互選を行い、委員長に堺繁光委員、副委員長に沼山雄平委員を選出した。
- (2) 第1回委員会 令和元年11月19日（火）
検討すべき課題について各委員から意見を述べ、委員間討議を行った。
また、提出された課題を項目別にし、検討する期間について討議した。
- (3) 視察調査 令和2年1月15日（水）
函館市議会におけるICT化の状況について視察調査を行った。
- (4) 第2回委員会 令和2年2月6日（木）
 - ① 函館市議会ICT視察報告書について
 - ② 商工会青年部との懇談会実施報告書について
 - ③ 検討課題領域別等について
 - ④ 渡島管内町議会の状況について各委員から提出された①、②についての報告及び主な提出資料である③、④について委員間で討議した。
- (5) 第3回委員会 令和2年4月15日（水）
 - ① 議会改革に関する調査特別委員会（第2回）までの経緯と今後の方向性について
 - ② 渡島管内町議会における一般質問の状況について
 - ③ 松前町議会定例会における各議員の一般質問時間の状況について
 - ④ 松前町議会タブレット導入に係る試算について
 - ⑤ タブレット導入町村の状況について
 - ⑥ 北海道内における主な議会モニター設置町について
 - ⑦ 渡島管内における議員定数等の状況について
 - ⑧ 北海道内における人口規模類似団体における議員定数等の状況について
 - ⑨ 北海道内における政務活動費支給状況について
 - ⑩ 議会改革に関する調査について主な提出資料である①から⑨について説明を受け、また、⑩について、各委員よりそれぞれの考え方について意見の提出があり、委員間で討議を行った。
- (6) 第4回委員会 令和2年8月7日（金）
 - ① 議会タブレットの導入について
 - ② 議会モニターについて主な提出資料である①及び②について説明を受け、討議を行った。

(7) 第5回委員会 令和2年10月12日(月)

① 議会タブレット端末貸与及び運用規程(案)について

② 議会モニター設置要綱(案)について

主な提出資料である①及び②について説明を受け、討議を行った。

(8) 第6回委員会 令和2年11月30日(月)

中間報告書(案)について討議、精査のうえ次回の定例会に提出することとした。

4 中間報告

今後における議会及び議員のあり方について、様々な角度から議論を進め、一層の議会運営の効率化と活性化に向けた取り組みについて方向性を見出すため、各委員より検討すべき課題について意見を述べてもらい、検討課題をそれぞれ項目別、検討期間別に整理して討議を進めた。

(1) 議会運営・活性化について

ア 議員定数については、「削減」と「現状維持」との両論があった。また、議員報酬についても「増額」と「現状維持」との両論があった。このことから、今後において、議員のなり手不足や人材の育成等を含め、町民から意見を聴取するとともに、全国的な流れや現在行われている国勢調査の動向も勘案し、継続して調査することとした。

イ 定例会における一般質問の質問時間については、今後設置する議会モニターから意見を聴取して引き続き協議していくとの方向性が示された。

ウ 会議のペーパーレス化等を目的としたタブレットの導入については、すでに導入している函館市議会の状況を視察のうえ検討した結果、令和3年度より運用していくこととした。

(2) 開かれた議会について

ア 町民懇談会・意見交換会・議会報告会については、本年1月に商工会青年部と人口減少やまちの将来をテーマとした懇談会を実施したところであるが、議会が主体性を持ち様々な団体と懇談を行うことは有意義であることから、今後においても目的や手法等を協議して実施していくこととした。

イ 議会モニター制度については、実施している他町村の状況を調査のうえ協議した結果、議会への関心を高めることができ、また、町民からの意見や要望などを広く聴取できるとの効果があることから、令和3年度より実施することとした。

ウ 議会だよりについては、その編集や発行を現在議会運営委員会で行っているが、広報委員会などの新たな組織は設置せずに町民が見やすくわかりやすい紙面づくりに向け、発行時期や編集内容等の課題について引き続き協議していくこととした。

エ 日曜議会・夜間議会については、過去に実施した状況を鑑みて実施しないこととした。

オ 模擬議会については、松前高校生を対象に議会形式ではなく、生徒主体による懇談会形式での実施について検討していくこととした。

(3) その他

ア 議員の兼業及び兼職の禁止並びに年金制度の改善については、全国的な動きや情報を共有しながら、必要に応じ北海道町村議会議長会を通じて国に対し、要望していくこととした。

イ 議員の資質向上等を図るため、松前町議会議員研修計画を策定し、それに基づき研修会を実施していくこととした。なお、第1回目として令和2年11月13日に福島町、知内町及び木古内町の各町議会と合同で研修会を行った。また、同様の目的から本会議終了後における議員間の意見交換会の実施についても検討していくこととした。

ウ 町内で大規模災害が発生したときに、議会として町民の安全確保と災害復旧に向け、迅速かつ適切な対応ができるよう「松前町議会議員の災害対応行動指針」を策定した。